

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和2年2月27日 職員数6名 回収数6名 割合100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標 工夫している点 など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	1	宿題と活動のスペースを分けている。活動しやすい環境づくりを行う。
	2 職員の配置数は適切である	5	0	1	毎日役割分担を決めて手薄にならないよう配置をしている。出来るだけ手厚く職員を配置できる様にする。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	0	段差などなく車イス等も通れる様スペースを確保している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	0	ミーティング時等、皆で相談や意見交換するようにしている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	0	結果を周知するとともに、改善点を話し合い改善目標をたてている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	ホームページに掲載している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	0	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	研修へ参加し、職員間で共有している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	ニーズ整理表を活用している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0	毎月、スタッフ間で相談し決定している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	0	毎月様々なプログラムを取り入れている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0	毎月の課題設定と毎日のミーティングで詳細を設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	子どものニーズや保護者様のニーズも含め計画を作成している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	毎日のミーティングを行い役割分担や支援内容を相談している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	1	報告ノートを活用し共有できるようにしている。支援の振り返りが行える時間を設ける。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	支援内容や子どもの様子を記録している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	1	0		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0	月に1度学校との時間調整を行い必要時は連絡を取り合い連携を図っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2	0	医療的ケアの必要な子どもの受け入れは行っていないが体制は整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	0	ステップノート等を活用している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0	1	公園等で地域の子どものと交流することがある。交流を増やせるようなイベント等に参加をするなど起案する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	0	送迎時や連絡帳、必要時は連絡を取り合い情報共有を行っている。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	0	ご家庭で取り入れるにあたって無理のない範囲で支援を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	常に対応できる体制を整えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	1	レクリエーションを通して連携を図れる場を設けている。話しやすい環境づくりを行う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	苦情対応報告書にて対応や経過等記録をしている。また常時対応できるよう体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	0	月に1回、行事予定やお便り等を配布し活動内容等も発信している。SNSを活用している。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	鍵付きのロッカーにて厳重に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	1	様々な方法を職員で相談し取り入れる事を視野にいれる。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0	マニュアルを目につく所に設置している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	月に1回避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	2	契約時にアレルギー調査を行っている。 医師の指示書の提出を保護者様に声掛けをしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	